

「野の花の丘便り」 7月上旬

半夏生（はんげしょう）

夏至の日から11日目の7月2日から七夕の7月7日頃までの5日間を半夏生というそうです。半夏「烏柄杓（カラスビシャク）」という薬草が生える時期で、この頃までに田植えを終える目安としたそうです。季節を表す言葉の一つですが、細やかな美しい響きを感じられます。

早いもので一年ももう半分が過ぎて残り半分、心を引き締め直して頑張らなければと思うこの頃です。

植物はこれから一年で一番暑い時期に向かって、一生懸命に花を咲かせようとしています。ヤナギランの赤紫、エゾクガイソウの紫、オカトラノオの白、エゾカワラマツバの黄色、ヒヨドリバナの赤、ヨツバヒヨドリの白、それぞれ個性のある花を咲かせ始めています。

いよいよ花の季節です。
今年も「花たち頑張れ」とエールを送りたくくなります。

咲き始めた花たち

ヒヨドリバナ



エゾカワラマツバ



エゾクガイソウ



ヤナギラン





